

令和4年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立水産高等学校

自己評価					学校関係者評価	
学校運営計画(4月)				評価(総合)		
学校運営方針		生徒に国家・社会の有意義な形成者となるための「知・徳・体」調和のとれた教育を施し、確かな学力を育成し、他社との関わりの中で自己の在り方・生き方や使命感を自覚させ、心豊かで力強い生き方ができる人間の育成に努める。			A	
昨年度の成果と課題		<p>年度重点目標</p> <p>基礎・基本的な知識や技術の確実な習得と主体的、対話的で深い学びを実現し、水産教育を通して、水産や海洋産業、地域社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する。(学習指導)</p> <p>社会性、倫理観、コミュニケーション能力、他者との関わりの中で生きていくことの自覚等を育成する。(生徒指導・道徳教育)</p> <p>水産業を魅力とやりがいのある産業として認識させ、高度な技術の学びの場や国際交流等を通してキャリア教育を推進する。(進路指導)</p> <p>基礎体力や物事をやり抜く忍耐力や責任感を育成する。(健康教育)</p>				
		<p>具体的目標</p> <p>○日々15分の「朝学習」をもとに、予習・復習、家庭学習の習慣化を図り、生徒に実施に即した授業展開、定期考査問題作成、放課後課外等を行い、学力向上を目指し確かな学力を育む。</p> <p>○資格課外の充実を図り、専門分野の知識・技術を生かした資格取得を目指すなど、生徒の希望進路の実現・自己実現を支援する。</p> <p>○生徒にチャレンジするチャンスを与え、目標に向かって活動に取り組んだ過程や結果を認められる(褒める)ことで、生徒に真の達成感を味わわせ、更に次へのチャレンジ意欲を向上させる「銀ほめ福岡メソッド」を実行する。</p> <p>○本校で「何をしたいのか」「何をすべきなのか」「何をを目指すべきなのか」を問いかけ、生徒との信頼関係のもと、毎時間の授業を充実させた教科指導、より良い人間関係づくりを目指す生徒指導を展開し「日本一の水産高校」を目指す。</p> <p>○いじめ防止基本方針のもと、いじめの撲滅や差別を見逃さない組織作り、校内並びに実習船「海友丸」の危機管理等、『生徒一人ひとりが「安心」「安全」で、「居場所」ある学校づくり』を推進する。</p> <p>○本校の強みと弱みを見つけ、強みをより強く、弱みを改善し、教科と教化、教員と生徒、生徒と保護者、学校と地域など組織として目的を強く共有する「チーム水高」を構成し、目の前の生徒に寄り添い、「マンネリは衰退」との思いで、ワンランク上の教育活動実現に向けてスピード感を持って取り組む。</p> <p>○新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、ICTを活用した教育を推進し、「何が出来るようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を考え、教職員が理解を深め「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善を行う。</p> <p>○水産・海洋関係・地域連携の諸行事に多くの参加させ、わくわく活き活きするような活躍の場を与え、学校を牽引するリーダーを育成するとともに、その活動の様子や成果を本校ホームページ上に定期的に更新するなど、積極的に広報する。</p> <p>○「体力向上プラン」により、基礎体力を向上させ、学校と家庭、地域社会が連携・協力し、生徒の心身の鍛錬に努める。</p> <p>○健康・安全に関する意識を高めさせるとともに、心身の調和的な発達を図る。</p>				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題		
教務部 教務課	基礎・基本的な知識や技術の確実な習得	チャイムtoチャイムを徹底し、規律ある授業を行う。 生徒の実態に即した授業展開、定期考査問題を作成し、学力向上を目指す。 指導と評価の一体的な改善を行い、生徒の学ぶ意欲を育む。	A B A	A	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な「居場所づくり」に配慮した授業展開を行う。 観点を踏まえた評価規準の作成と考査問題の改善・充実を図る。 指導と評価の一体化を図り、授業改善及び学力向上を目指す。 	
	主体的、対話的で深い学びの実現	アクティブラーニングなどを活用した生徒がわかる授業を展開できるように授業改善を行う。 ICTの積極的な活用と指導方法・指導体制の工夫改善を通じた新たな学びを推進する。 研修図書課と連携し授業改善のための研修を実施する。	B A A			
生徒指導部 生徒指導課	基本的な生活習慣の確立	服装・頭髪検査を月1回定期的に実施し、身だしなみ意識の向上を図る 登下校、授業の開始終了時に、全職員が率先垂範して挨拶を指導する。 集会や各行事、部活動においては、設定された時間を厳守する習慣をつけさせる。	B A B	B	<ul style="list-style-type: none"> 登下校、授業の開始終了時に、全職員が率先垂範して挨拶を指導する。 授業開始時の身だしなみ指導を徹底する 集会や各行事、部活動においては、設定された時間を厳守する習慣(やり直しをする等)をつけさせる。 	
	いじめを許さない学校づくり	月1回のアンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応を組織的に行う。 いじめの未然防止に向けて全職員共通理解の下、生徒の「居場所づくり」を目指す。 生徒への指導にはできるだけ複数で当たり、その後の教師間による情報の共有を密に行う。	A A A			
進路指導部 進路指導課	進路実現満足度100%の達成	企業訪問を積極的に実施し、ハローワークとも情報を共有する。 進学希望者への確実な情報提供と、個別指導の実施。 生徒・家庭によりそう進路指導の実施。	B A A	A	<ul style="list-style-type: none"> 入社後のミスマッチを防ぐためにも応募前企業訪問を確実に実施する。 HANDY進路指導室を更に活用し、円滑な指導を実施する。 	
	キャリア教育の充実	10年後の自分の姿を考えさせる講話やガイダンスの実施。 本校オリジナルのキャリア教育の構築。 費用対効果を考慮した資格取得情報の精選・提示。	B B A			
第1学年	職業人としての基礎的な力をつけさせる	学校生活に合わせた生活習慣を確立させる。 2学年時に備え、実習に臨む際の心構えを持たせる。 2年後の就職、進学試験に向けて、基礎学力の向上に努める。	B B B	B	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣が確立できていない一部生徒の効果的な指導法を考えなければならない。 卒業後の進路が明確でないまま、コース選択をしている生徒があり、その生徒の指導法を考えなければならない。 	
	早めの進路先決定と動機付け	コース選択の前に、卒業後の進路を明確にする。 進路に悩んでいる生徒に情報を提供し、進路先決定に繋げる。 今やるべきことを明確にし、動機付けを行う。	C B A			
第2学年	中堅学年の意識を持たせる。	欠席、遅刻、早退の防止に努める。年間10日以内とする。 挨拶の励行、身だしなみ、言葉遣いの指導を徹底する。 基本的な生活習慣の確立と問題行動の防止に努める	B B B	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の出席状況は、クラスによって、遅刻・欠席が多い生徒が出てきている。家庭と連携して、引き続き指導を行う。 	
	進路希望先を明確にさせ、目標を設定させる	科、コースの特性に応じた資格取得の促進。 進路先と希望生徒との相性などを考慮した進路指導を行う。 2年後の進路実現を目指し、忍耐力を持たせる指導を行って	B B B			
第3学年	志望と適性に合った進路の実現	7月の三者面談までに希望進路を決定させる。 1学期中に面接に向けた基本的な所作を身につけさせる。 1学期中に履歴書の下書きを完成させる。	A A A	A	<ul style="list-style-type: none"> 個人端末機器を使った履歴書のパソコンでのデータ処理の確立 	
	最上級生としての自覚の養成	学校行事や資格取得、部活動に積極的に取り組む姿勢を持たせる。 学校行事等の活躍の場を大切に、さらに成長できるよう支援を行う。 日々の授業や朝学習を大切に、学び続ける習慣を身につけさせる。	A A B			
教務部 企画広報課	校内にも校外にも水産高校への関心を高める広報活動を行う	本校の魅力が伝わるよう学校案内等のデザインを工夫する。 メディアで本校が取り上げられた際、生徒にも情報提供を行う。 中学校訪問の在り方を工夫し、本校の魅力を伝わりやすくする。	B A A	A	<ul style="list-style-type: none"> 本校の魅力を様々な方法で発信する方策の充実 中学校への広報活動が効果的かつ効果的になるための見直し 	
	PTA活動や一斉メールなどの情報提供により、生徒の安全安心な学校生活を支え、学校への信頼度を保つ	一斉メール等を活用し、保護者との連携を密に図る。 PTA役員会、総会の運営を的確に行う。 学校のホームページを見やすいものにし、頻繁な更新を行う。	B A A			
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見					
A	<ul style="list-style-type: none"> 中学生・保護者からの評判が良い 3年間のコロナ禍の中生徒の授業は、対面とリモート併用と史料されるが、基礎学力低下しない対策を評価する 					
A	<ul style="list-style-type: none"> いじめなどの話をここ数年聞いていない 登下校の挨拶の励行や自転車マナーの励行等を高く評価する 					
A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分の人生の目標に向け日々努力されている 就職難が続く中、本校の求人募集の増加は教職員一丸となつての評価と史料する 					
A	<ul style="list-style-type: none"> レベルの高い生徒指導が行われている コロナ禍の中満足なキャンパスでの活動が制限される中順調な学習等の成果が上がっているものと史料する 生徒自身が早期に進路を決めることは中々難しいと思います。生徒に寄り添った進路指導を今後も続けていただきたい 					
A	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な生徒指導が日々行われていると感じる 2学年になって水高の中堅学年としての自覚が身につけてきていると史料され、目標の達成も順調と史料される。 資格取得は生徒の大きな自信になりますし、将来にわたつてのキャリアにつながると思います。積極的な取組をお願いします。 					
A	<ul style="list-style-type: none"> 素晴らしい人間教育が行われていて、生徒が誇りを持っている 3年間コロナ禍で正式な入学式を迎えられなかった3年生であるが順調な学舎での成長がうかがえる 					
A	<ul style="list-style-type: none"> 関心を高める広報活動がしっかりと行われている 現在の水高生は、校内外を問わず高評価であり、県やメディアも高い関心を持っている。 					

生徒指導課 保健環境課	保健に関する情報の発信と環境衛生保全のための 確認、報告を行う 保健指導、心身の健康保持増進、健康把握と 基本的生活習慣の確立	生徒保健委員会を指導し、保健便りの発行を行う	B	A	A	・環境衛生検査による環境保全を実施し、 教育環境を整える。	A	・保健安全の指導やその取組がしっかり 行われている ・学習のみでなく心身ともに大きな成 長がうかがえる
		環境衛生検査(水質・照度検査等)を実施し、各場所の環境保全に努める。	A					
		保健委員で年2回安全点検を実施し、教育環境を整える。	A					
		感染症等の予防の観点から、うがい・手洗い・換気を推進する。	A					
進路指導部 研修図書課	校内研修を充実させ、教職員の資質を高める。 図書館の設備を充実し、生徒に読書の楽しさや 有用性を伝える。	基本研修や公開授業・相互授業参観を行い、教員の資質向上を目指す。	A	A	A	・教員の資質向上を目指し、研修を精選し、実行していく。	A	・生徒のことをよく考えられた教育がお こなわれている ・図書館の活用も最近は高くなってい るよう見聞していて良い傾向と思わ れる
		研究紀要を発行し、教員の自主的な研修活動を周知する。	B					
		ソフトウェアを導入し、図書貸出の利便性を図る。	B					
		図書委員活動を活性化させ、生徒の自主的な活動を目指す。	A					
海洋科 航海コース	将来の船員としての必要な力を身につけさせる 船舶職員養成施設の充実を図る	海技士国家試験(筆記)合格者を複数出す。	B	B	B	・海技士国家試験合格へ向けての組織的取組	A	・専門性が高く充実した指導が伝統と なっている ・海技士国家試験は課程によっては 筆記免除もあるが、上級試験にチャレ ンジしている姿勢はすばらしい
		乗船前後の指導を工夫し、乗船実習と学校での授業とを結びつける。	B					
		外部団体との進路学習を複数回持つ。	B					
		海技士養成施設における実務を整理し共通理解を図る。	B					
海洋科 機関コース	安全教育の徹底、社会貢献できる人材育成 船舶職員養成施設の充実を図る	QSSの運営の充実を図る。	C	A	B	・3県共同運航や養成施設、QSSの実務的な業務を組織化し共有化 して誰でもできるようにする。	A	・事故がないように最善を尽くしてある ・機関コースも航海コースと同様であ る
		3県共同運航実習船の運航の充実を図る。	A					
		実習時の服装、保護具の着用、整理整頓の徹底。	A					
		インターンシップ受入先企業開拓、就職先開拓。	A					
海洋科 マリン技術 コース	事故を起こさないダイバーを育てる 進路開拓(潜水会社)を進める。	進路実現のための資格取得、勉強への取り組みを実行するよう生徒に促す。	A	A	A	・社会人招聘事業、インターンシップを継続して行い、就職先開拓、進 路実現につなげたい。就職しても、離職しない忍耐力のある生徒を育 てたい。	A	・事故がないように生徒の命を大切に してある ・最近特に普及しているマリンスポー ツは本校の目玉コースとなりつつあ り、成果が期待される
		海技士養成施設における実務を整理し共通理解を図る。	B					
		QSSの運営の充実を図る。	C					
		3県共同運航実習船の運航の充実を図る。	A					
食品流通科	職業人としての資質を育成し、社会での実践能 力を身に付けさせる。 新商品開発と地域との連携	基礎の泳ぎ込みを徹底し水に対する恐怖心を減らす。	A	A	A	泳ぎ込みは継続しつつ、 潜水以外のマリンスポーツも身に付けさせる。	A	・生徒の言動や態度がとても良く成長 している ・総合実習として地元食材を使用し ての水高パーガーのみならず缶詰にも 力を注いでいる
		潜水事故に対する知識を実例を挙げて説明し、理解させる。	A					
		様々な状況・器材を実習で体験させ、就職先でのパニックを減らす。	A					
		卒業生が就職している潜水会社との連携を強化する。	B					
アクアライフ科	社会人・水産人としての資質を身に付けさせる。 地域との連携	会社訪問を行い、潜水会社への進路先を確保する。	C	B	B	潜水及びその他マリンスポーツ分野 においても進路先を確保する必要がある。	A	・生徒がいきいきしている楽しそうな笑 顔が見られる ・アクアライフ科の活躍も本校内外で 注目されさらなる成果を期待している
		有効な潜水資格を取得させ、全員が潜水職を選択できるようにする。	A					
		総合実習を通して、衛生知識を身に着ける	A					
		総合実習を通して、他者とのコミュニケーション能力を向上させる。	A					
事務室	予算の効率的な執行を図る。 生徒及び教職員の安全管理・環境整備に努め る。	挨拶・服装・言葉遣い・時間厳守の指導を徹底する。	A	A	A	・多種類の実習品の製造 ・実習機器の定期的なメンテナンス	A	・いろいろと工事されたり、限られた予 算で努力のあとが見受けられる ・事務長を始め職員の高く評価 する。特に今年は創立70周年記念行 事で事務室での収支対応も大変と思 料する
		命の大切さと安全に対する意識を身に付けさせる。	A					
		生物飼育・漁具製作などの体験活動を多く取り入れる。	A					
		地域と連携した活動を多く取り入れる(漁業体験・竹林整備等)	A					
事務室	予算の効率的な執行を図る。 生徒及び教職員の安全管理・環境整備に努め る。	地域資源を活用する(水産・農業・土地・風土 等)	B	A	A	・企業と連携した新商品開発 ・販売実習への積極的な参加	A	・要支援生徒への指導の在り方 ・生徒発表会の在り方
		貢献活動への参加(イベント等)	A					
		効果的・効率的な予算執行に努める。	A					
		光熱水費の削減に努める。	B					
事務室	予算の効率的な執行を図る。 生徒及び教職員の安全管理・環境整備に努め る。	偏りのない予算執行に努める。	B	B	B	光熱水費が増加したため、更なる削減が必要となる。	A	・いろいろと工事されたり、限られた予 算で努力のあとが見受けられる ・事務長を始め職員の高く評価 する。特に今年は創立70周年記念行 事で事務室での収支対応も大変と思 料する
		不良・危険個所に対し速やかに対応する。	A					
		校舎を巡回し危険防止策を講じ、事故等を未然に防ぐ。	A					
		職員間での危険個所等の情報共有を密に行う。	B					

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<p>・近隣の中学校や地域の方または、保護者からの評価評判が良いという評価が多い中に少数意見で「社会的モラルについて、一部の生徒のモラル低下が懸念されます。学校全体のイメージにマイナスである」などがある。そこで、引き続き基本的生活習慣を身につけるための教育的指導を行っていく必要がある。</p> <p>・概ね高評価のご意見をいただいた。しかし、学校内の自己評価ではまだ改善・強化する課題がそれぞれある。さらなる学校全体のレベルアップを図るためにもより良い教育活動を行っていく必要がある</p> <p>・次年度は、コロナ後の様々な規制がなくなったところで地域連携を従来のように戻し、さらに地域社会に開かれた学校づくりを目指したい。</p>
--

<p>評価項目以外のものに関する意見</p> <p>・全般的にAを評価します ・すばらしい学校経営、学校運営、教育が行われていて尊敬しております ・中学生の行きたい学校のひとつにつくって頂き進路選択の上でとても人気がありありがたいです ・令和4年までの3年間のコロナ対応の学校運営は大変だったものと思料します。特に行事(出港式、帰港式、体育祭、修学旅行等)の再開や活発な行事の実施は高く評価します。 ・社会的モラルについて、一部の生徒のモラル低下が懸念されます。学校全体のイメージにマイナスである。 ・校長を始め教職員一丸となつての成果と拝察申し上げます。令和5年度からは、5月8日以降コロナの5類移行等で、以前の積極的な活動を期待しています ・水産高校(先生・生徒)、九大、漁協により年数回話し合いをも設け新商品開発等検討をしてもらいたいと思料します</p>
--